

九条の会発足 10 周年講演会

集団的自衛権と憲法 9 条

「九条の会」は、来る 6 月 10 日に発足 10 周年となります。小泉純一郎政権下、戦場であるイラクに自衛隊が派遣されている中で 9 人のよびかけ人がアピールを発表しました。

10 年後の現在、第二次安倍政権は“戦争する国”にするために、憲法を踏みにじる政策を次々に強行しています。歴代内閣が憲法違反としてきた「集団的自衛権の行使」についても、解釈の変更だけで可能だと強弁しつづけています。閣議決定だけで、自衛隊が海外で武器を使用できるようにすることは、断じて認められません。

立憲主義そのものが破壊されようとしている中、

記念すべき 6 月 10 日に、憲法 9 条を要とする日本国憲法を生かし、平和の実現を考える講演会を開催します。ふるってご参加ください。

6 月 10 日(火)

開会 18 時 開場 17 時

渋谷公会堂

(東京都渋谷区宇田川町 1-1)



参加費 前売 1000 円 当日 1500 円

参加申込期間 4 月 14 日より 5 月 31 日まで、郵便振替口座にて受付けます。ただし定員に達した場合は、その時点で締切らせていただきます。

参加申込方法 郵便局備付の振替用紙(青色)に「参加券希望枚数・名前・郵便番号・住所・電話番号」を書いて、下記の郵便振替口座に参加券代金(1 人 1000 円)をお振込みください。振込手数料はご負担ください。入場券は郵送します。振込後 7 日経過しても入場券が届かない場合はご連絡ください。

郵便振替口座 記号番号 00100-9-774293 加入者名 九条の会講演会

連絡先 九条の会事務局 101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7-303

電話 03-3221-5075 FAX03-3221-5076 メール mail@9jounokai.jp

集団的自衛権行使による「戦争する国」づくりに反対する国民の声を

日本国憲法はいま、大きな試練の時を迎えています。安倍首相は、「憲法改正は私の歴史的使命」と憲法の明文を変えることに強い執念をもやす一方で、歴代内閣のもとでは「許されない」とされてきた集団的自衛権行使に関する憲法解釈を転換し、「戦争する国」をめざして暴走を開始しているからです。

日本が武力攻撃を受けていなくともアメリカといっしょに海外で戦争するという集団的自衛権の行使が、「必要最小限度の範囲」という政府の従来の「自衛権」解釈から大きく逸脱することは明白です。それどころか、日本やアメリカの「防衛」ではなく、日米同盟を「世界全体の安定と繁栄のための『公共財』」(防衛省「防衛力の在り方検討に関する中間報告」とみなし、世界中のあらゆる地域・国への武力介入をめざす体制づくりです。

この企ては、本来なら衆参両院の 3 分の 2 以上と国民投票における過半数の賛成という憲法「改正」の手続きを経なければ許されない内容を、閣議決定だけで実現してしまうものです。そのため、長年にわたり集団的自衛権行使を違憲とする政府の憲法解釈を支えてきた内閣法制局長官の入れ替えまでおこないません。麻生副総理が学ぶべきと称賛したナチスがワイマール憲法を停止した手口そのものです。これは立憲主義を根本からつき崩すものであり、とうてい容認することはできません。

それだけではありません。安倍内閣は、自衛隊を戦争する軍隊にするために、海外での武力行使に関する制約をすべて取り払い、「防衛計画の大綱」の再改訂により、「海兵隊の機能」や「敵基地攻撃能力」など攻撃的性格をいちだんと強めようとしています。

「戦争する国」づくりにも足を踏み入れようとしています。すでに安倍内閣は、防衛、外交に関する情報を国民から覆い隠し首相に強大な権限を集中する「特定秘密保護法案」や日本版 NSC(国家安全保障会議)設置関連法案などを臨時国会に提出しようとしています。自民党が作成した「国家安全保障基本法案」では、「教育、科学技術、運輸、通信その他内政の各分野」でこれらの「安全保障」政策を優先させ、軍需産業の「保持・育成」をはかるとしているばかりでなく、こうした政策への協力を「国民の責務」と規定しています。これを許せば、憲法の条文には手をふれないまま自民党が昨年 4 月に発表した「日本国憲法改正草案」における第 9 条改憲の内容をほとんど実現してしまいます。

さらには福島原発事故の無責任と棄民、原発技術輸出の問題、その他問題山積の現状があります。

戦前、日本国民はすべての抵抗手段を奪われ、ズルズルと侵略戦争の泥沼に巻き込まれていった苦い経験をもっています。しかし、いま日本国民は国政の最高決定権をもつ主権者であり、さらに侵略戦争の教訓を活かした世界にも誇るべき 9 条を含む日本国憲法をもっています。いまこそ日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、歴史の教訓に背を向ける安倍内閣を草の根からの世論で包囲し、この暴走を阻むための行動にたちあがりましょう。

2013 年 10 月 7 日

九条の会